

## 鹿屋体育大学における経費節減にかかる基本方針

平成29年3月9日  
学 長 裁 定

### ○ 常に費用対効果を意識して取り組みます

全ての教職員は、大学の経費が学生及びその保護者はもちろん国民から預ったお金であることを忘れることなく、常に費用対効果を意識して教育研究活動に取り組みます。

### ○ 常に新しい発想や観点で取り組みます

経費を使うにあたり、費用対効果の面でもその方法が常に最善であるように、積極的に情報を収集し、新しい発想や観点での課題発見と経費節減及び経費削減に努めます。

### ○ 業務の効率化にも取り組みます

経費節減を行うと同時に業務の効率化も実現できるように努め、最大の経費節減の課題である人件費の効率的な運用を目指します。

### ○ 未来の環境に配慮して取り組みます

経費節減にあたっては、安価な面だけに注目したその場限りの判断でなく、未来の環境に悪い影響を与えないように長期的な視野で取り組みます。

### ○ ライフサイクルコストまで意識して取り組みます

大学が主体となる新たな事業や大学の教育研究環境整備にあたっては、インシヤルコスト（初期投資費用）だけでなく、ライフサイクルコスト（維持管理費、修理費、運営費、廃棄処分費等）を見据えた全てのコストに対し、費用対効果の面で妥当性を検証し、精選します。